



1

熊本市教育政策課 花園公民館

宮尾有（社会教育主事）

- 社会教育士
- 防災士
- 食品衛生管理者

大学で彫刻を学び、教員となって美術教育に携わる。
美術を生かすならこれだと思い、社会教育主事になる。

熊本地震から「つながり」の大切さを思い知らされる。
コロナ禍の中で「学ぶこと」は生きることだと気づく。

自分が公民館となり、好きな場所へ出かけて、そこで出会った
人のよさを引き出すのが夢。それに触れるのが楽しいから。



2



阿蘇山は落ち着いています。登れないけど。(12月1日現在)

熊本の今

コロナの対応 (レベル1)

熊本市においては、10月以降の広がりは見られず、感染者が非常に少ない状況が継続中。

しかし、夜間の人流は依然として高い水準にあるため、感染の再拡大に繋がらないよう、引き続き、あらゆる場面で基本的な感染防止対策の徹底など注意が必要。

3



公民館の今

花園公民館管内の状況

コロナ感染拡大防止にのっとって椅子を配置すると、このような感じ。

4



5

ウォーキングで気分転換

- 身体を動かす。
- 身の回りの面白さに気づく。
- 3密を避けながら、つながりを持つ。



6

.....

PCスマホ なんでも相談室

- いないようで居る講師
- 植物の名前をスマホで調べて
花園Voisinsにつなげる。
- スマホの使い方を学ぶはずだが、
会話を楽しむ方が大事。



7



ウクレレミーティング

- 講師がいるようでいない講座
- やっぱり上手くなることが目的ではなくて、
会話するのが大事

8



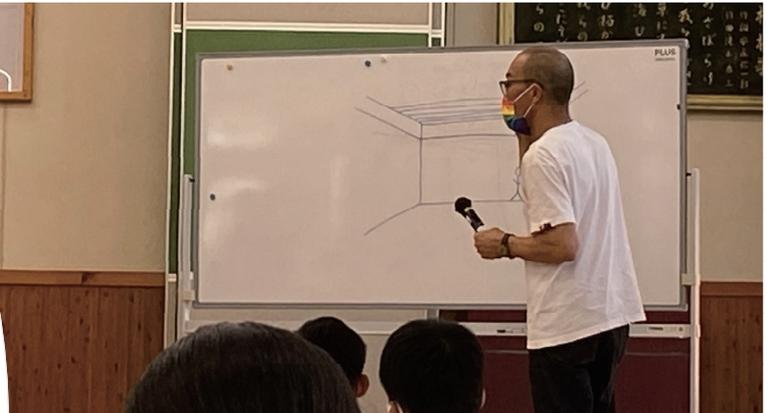
ボーイスカウトと 一緒に

- メスチンでご飯を炊く。
- 楽しい体験の中に防災を含ませながら。
- 密を避けながら取り組む調理の講座は屋外。

9

芳野中学校レインボー プロジェクト

- アーティスト岡山直之さんを招いて生徒と一緒に学校に虹をかける。
- Zoomでのやり取り、2回の対面で子どもたちのアイデアを形にする。



10

レインボーマンと 一緒に

- コロナ禍の中、用心しながら学校に虹をかける。
- 「自分たちのアイデアが形になるのだという体験をしてほしい」とレインボーマン岡山さん。



11

異化した空間

- 子どもたちのアイデアを形にできました。
- 一緒に作業することで生まれるつながり
- 青少年育成協議会と学校と公民館の連携でのプロジェクト



12

花園Voisinsプロジェクト



- 植物で時間を越えてつながる
- 食べられる植物を見つける
- 得意を生かす隙間があってこそ

13

植物が持つ面白さ

- 花や野菜はみんなに好まれる。
- 人をつなぐアイテム
- 安らぐ
- 食とつながる



14

開墾 土づくり

- 山茶花にチャドクガが大発生したのを機に花壇を整備した。
- 近所の人が手伝ってくれた。
- 大事なものは土づくり。

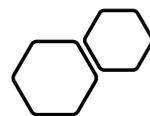


15



花壇の開拓

- 食べられるハーブを植えて、食でつながる。
- みんなで成長を見守りながら、ゆるくつながりを作る。
- 地域の人との会話や活動から講座を企画する。



16

ハーブを使った料理講座

- 花壇で育っているハーブや野菜を使って料理の講座を実施。
- 直接、調理はできないので、作る様子をジンにする。



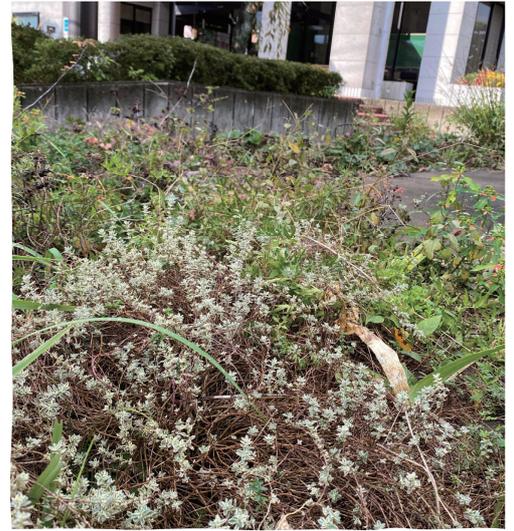
17

野菜を植えたり、花を植えたり

- 地域の人と一緒に育てる花壇
- 花の苗や種を持ってきてもらう
- 直接、交流しなくても花壇の変化で地域の人たちの交流がわかる。



18



晩秋の花壇の ハーブたち

- 秋を迎え、そろそろ一年生のハーブたちはおしまい。
- 新しい種や苗を募集中です。
- パセリ、セージ、ローズマリー、タイムをベースに植えます。
- しかし、この先、何が育ってくるのかはまだわかりません。

19



この2年間の振 り返り

- 当たり前の大切さ
- コロナ禍での休館

休館日
令和2年
3月2日～5月20日
8月6日～9月24日
令和2年12月19日～令和3年2月17日
令和3年
4月27日～6月27日
8月3日～9月30日



20



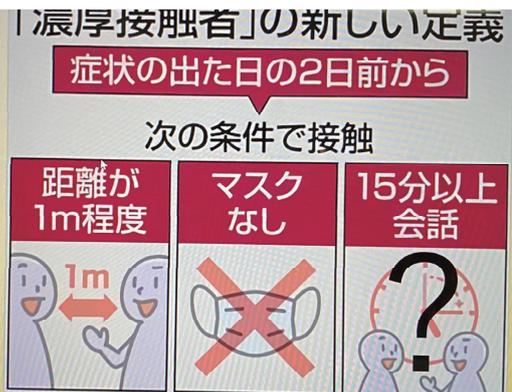
公民館とは？

- ふらっと立ち寄れる場所
- 地域の人たちの個性をいかして
- 職員の個性をいかして
- つながりと生きがいを支える
- やっぱり民主主義の練習場

21

これから職員は何をしていくのか

- 話を聞く
- 考えることを大切に
- 自分の人生は自分で紡いでいく
- 濃厚接触者にならないための啓発



東京新聞 TOKYO WEB | 「新型コロナウイルス濃厚接触者の定義を変更 発症2日前、距離1m以内、15分以上会話 Q & A」
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/4476>

22



考えることの大切さ

- 自分の中で納得できる情熱と切実と逸脱を作り上げる
- あなたは何が好きで、何が得意で、どのように社会とつながっていますか
- 誰かの考えに触れて得た知識を元実践して、よく考え、さらに深めていくことの意味。

23

学ぶことは生きること

この世界の作りだとか成り立ちを深く「理解する」ことって、やはり、実際に移動してその場に立ち、身体全体で感じることでしか、本当には、できないと思うんです。自分は、そうやって学んできました。

実際に人に会って、実際に山に登って。

これまで、そういう「旅」をしてきて、その確信はますます強まっています。

—ほぼ日手帳2021年1月18日：石川直樹さんが「旅・人・20、写真・師・山」の中で—

24

これからの公民館は

話を聞く

得意を生かす、得意を引き出す

つながりのきっかけを支える